



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「つながってよう」 「慕い求めます」	〃	
聖書朗読	詩編23	司会	
祈禱	(旧約聖書 p854)	〃	
特別賛美	愛星幼稚園職員	会衆	
賛美	354	牧師	
説教	「主は牧者」	会衆	
祈禱		〃	
賛美	527	司会	
献金		会衆	
報告		司会	
頌栄	新生672B	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝

説教：渡真利文三牧師

司会：渡真利彦文牧師 奏楽：ラスマッセン・道姉

聖書：マタイ4：1-11 (新約聖書 p4)

説教：「みことばと祈りこそ
わたし達の武器」

プレイズ：「花も」「鹿のように」

賛美：新生435 新生437



ファミリー礼拝 (9:00)

聖書：マルコ14：43-52

メッセージ：「愛しているながらも」

<巻頭言>

「卒園・修了式に臨んで」

牧師 渡真利彦文

第52回愛星幼稚園の卒園式・修了式が昨日(17日)祝福のうちに
行われた。今回は25人の卒園で、16校の小学校に入学する。それぞれの成長を思いめぐらしながら、月日の経つ速さに改めて驚いた。

子どもたちは3年を基本として園で過ごす。子どもたちにとっては人生で初めての学校となる。子どもたちはどのように過ごしていったであろうか。聖書の創世記1章1節に、「神は天地を創造された」とある。神は時間と空間(場所)と物質を創造されたと読むことができる。その神の創造の業を理解するとき、私たちが平安に生き、幸せになるバランスのとれた生涯を送ることができる。その創造の業を幼稚園に重ねてみると、時間は幼稚園の歴史であり、空間は幼稚園の建物と考えることができる。物質とはなんでしょう。私は目に見えて計ることのできる認知能力も大切だが、目に見えず計ることのできない非認知能力こそ大事だと考える。それは勇気や優しさなどで表すことができる。子どもたちが愛星幼稚園で過ごす中で、目には見えないが大きなお方がおられることを知り、そのお方に向き合う心が育つように願っている。必ずやその思いが子どもたちの生涯の中で、人生を生き抜く力となるでしょう。

教会は卒園そして修了した子どもたちとその家族のために祈りを持って仕えていきたい。